

通信制教育目標	重点目標（中長期的目標）	総合評価	
「生きる力」の育成 ～自学自習を通して～ 社会に対応できる学力 ・コミュニケーション能力 自己の可能性の再発見	単位取得に向けた履修継続への支援	ひとりひとりの学力に応じた学習指導（個人指導・特別指導・地区面接授業）を行うことによって、最後まであきらめずに活動する生徒が増えてきている。	
	今年度の重点目標	成果と課題	下半期 改善策・向上策
	職員研修会の実施 ・多部制・単位制に向けて ・学習指導の工夫と評価 ・全通研・中通研などの全国的動向	多部制単位制準備委員会の報告・検討事項を中心に職員会ごとに情報交換している。 全通研・中通研大会についても報告研修している。	中通研教科研究会の結果を各教科にとどめず 全体の問題として捉えることができるよう情報交換の場を設定したい。
個人懇談の積極的な実施 ・学習指導のための個人面接・特別指導	個人指導を受ける生徒が非常に多くなっている。日、月曜日以外の個別指導を希望して登校する生徒が増加している。	個人指導の希望者が多くなっているため、時間、内容等生徒の希望に対応できるようにしていきたい。	

領域	評価項目	評価の観点	成果と課題	下半期 改善策・向上策
教 育 課 程 ・ 学 習	・教育課程の改善	・新たな多部制・単位制高校としての教育課程をつくれたか。	2期制導入による教育課程（通年科目、前期、後期開講科目）を設定。単位認定等の諸規定を策定している。	より学習しやすい環境を整備し、学習の手引き、職員便覧の改定につなげる。
	・学習指導の充実	・生徒によるレポート、添削、面接等の評価を実施したか。	面接授業の評価については、各教科で実施。特別活動、総合的学習の時間については、アンケート調査で実施。	レポートや添削についてアンケート調査を実施する。
	・シラバスの活用	・指導に生きるとともに生徒に役だったか。	一部の生徒は活用しているが、全体としては、不十分。	より具体的なシラバスの内容の検討をしていく。
生 徒 指 導	・禁煙の徹底	・集会やHRでアピールし、喫煙マナーを向上できたか。	集会やHRでの指導もあり、校内禁煙は、浸透した。校舎周辺の吸い殻は、減少している。	引き続き粘り強く指導する。
	・保護者との連携強化	・半数以上の保護者と懇談できたか。	保護者懇談会期間中の懇談者数は、92名。未成年の生徒のほぼ3分の1実施できた。	引き続き保護者との連絡を密にしていく。
	・交通安全の徹底	・会誌や集会等を利用して注意を喚起できたか。	5月に大きな事故があり 集会等を通じて注意を喚起した。以降は事例なし。	引き続き粘り強く指導する。
活 動	・進学指導体制の確立	・個人面接、特別指導等を生かし、学力の向上が図られたか。 ・進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。	放課後の進路説明会や特別指導の成果があり、生徒の進学や就職への意識が高まっている。	出願中の生徒も多いので 面接指導に力を入れる。進路説明会や個別指導の機会を多くする。
	・就職指導の充実	・事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。	係、担任による積極的な働きかけによりスムーズに出願、受験できている。	引き続き粘り強く指導する。
	・地区活動の充実	・魅力ある活動ができ、参加者が増加したか。	各地区とも意欲的に活動したが、参加者数は伸び悩んでいる。	システムの変更を考えながら活性化の方向を探る。
学 校 経 営	・新たな多部制・単位制に向けた研究	・午前部・午後部・夜間部との連携について課題が明確になったか。	定時制、通信制それぞれの教育課程が決定し、日課や使用教室等についての課題が明確になってきた。	準備委員会を中心に課題の検討をしていく。
	・教務会の充実	・全体を見通した検討や提案ができたか。	定期的に教務会を持ち、充分検討して職員会に提案するようにしている。	新しい課題に向けて活動を充実していく。
	・係活動の活性化	・課題に対する提案や周知徹底ができたか。	ほぼ順調にできている。特にスクーリング当日の清掃活動なども徹底し、校舎内外の美化活動が充実してきている。	更なる課題を見だし検討しながら、係活動の活性化につなげる。
・新高校通信制の理解を促す広報活動	・全中学校・高校へ適切な資料を配付できたか。 ・地区説明会で明快な説明ができたか。	8月26日学校説明会にて学校案内・資料を、10月26日11区入試説明会、10月31日10区入試説明会にて通信制学校案内・体験入学の案内を配布した。	11月中に募集要項を作成し、12月15日体験入学、2月から学校説明会に向けて準備を開始する。11月26日中信教頭会、11月30日南信教頭会、2月本校にて学校説明会、6地区学校説明会を予定している。	